

ま 真室川町

議会だより

2020年1月27日

No. 149



今年もいい年でありますように (番楽フェスティバルから)

年頭のあいさつ	2
梅里苑指定管理者決まる	3
請願等・議会の動き	5
一般質問 (6人登壇)	6
議会報告会	13
自治功労者表彰	16

謹賀新年



明けましておめでとうございます。
町民の皆様におかれましては、日頃より町政の発展と議会運営に対してご理解とご協力を賜り、真室川町議会を代表致しまして深く感謝を申し上げます。

昨年は統一地方選挙の年でありましたが、自治体によっては議員の成り手不足が課題となっており、議員定数や報酬のあり方について検討されつつあります。当町議会としても議会改革調査特別委員会において、来年3月の改選期に向けて議論しており、議会活性化によりさらなる住民福祉の向上につなげてまいります。

また、本年末には役場新庁舎が完成いたします。皆様方の暮らしに密接な、また防災機能の拠点として安全・安心に利用できる庁舎にしていかなければなりません。

今後も全議員一丸となって、「人が輝き 町が輝き 未来が輝く まむろ川」の実現と、町政発展に尽力してまいりますので、町民の皆様のごさらなるご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様方の益々のご多幸とご繁栄を心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

真室川町議会議長 五十嵐 久 芳

本年もよろしくお願いいたします



高橋秀則 議員 佐藤栄子 議員 佐藤一廣 議員 佐藤成子 議員 平野勝澄 議員
大友又治 議員 佐藤 正 副議長 五十嵐久芳 議長 外山正利 議員 菅原道雄 議員

12月定例会

梅里苑指定管理者決まる トロッコ列車と遊楽館は業務委託



梅里苑

12月定例会は9日から11日までの3日間の会期で開かれ、条例設定・改正、指定管理者の指定、工事請負変更契約、各会計補正予算など、町長提出案件20議案を慎重に審議し、それぞれ原案のとおり可決されました。

◆指定管理者の指定

- 対象施設
 - ・まむろ川温泉梅里苑
 - ・まむろ川温泉体験交流の森
- 指定管理者
 - 株式会社 ひかり
 - (鮭川村石名坂)
- 指定の期間

令和2年4月1日～
令和7年3月31日

大友又治議員 トロッコ列車や遊楽館の取り扱いはどうなるか。
企画課長 トロッコの管理運営、遊楽館は一般会計の取り扱いとして

たうえで、指定管理者に業務委託とする。

大友又治議員 新真室川温泉株式会社を取り扱いは現在どういう方向で動いているか。

企画課長 現状、源泉の所有は株式会社。町が引湯料を払っている。町では温泉権の譲渡を申し

入れている。指定管理後の責任分担を明確にし、簡素化と効率化を図りたい。

大友又治議員 誘客アップのプレゼンが少なかったように感じる。遊楽館含め一体的にやるべきではないか。

町長 指定管理に至ったのは、現状を何とかしなければならぬ、町直営では限界があるというのが最大の理由だった。まずはサービス向上、次の段階で誘客をはかっていく。初年度からV時回復という過大な期待でなく、長い目で見てほしい。

佐藤成子議員 管理者が変わることにより現在の従業者の雇用への対応は。

企画課長 指定管理予定者は、事業計画の中で雇用の継続も含め、地元職員の積極的な採用を予定している。

◆梅里苑設置条例改正 佐藤栄子議員 使用料の上限設定について内容等を熟慮され、利益とおもてなしの行き届いた内容で、指定管理者とこれから協議を深めてもらいたい。

企画課長 金額上限設定については、県内各地域を考慮しており、詳細については指定管理者の管理が維持でき、また、柔軟に対応できるように条例改正を行うものである。

◆会計年度任用職員に関する条例設定 平野勝澄議員 新制度でのフルタイム会計年度職員に該当する職員は現在いるか。今回の改正で不利益は出ないか。正職員化は考えているか。

総務課長 現在の嘱託職員の位置づけでは、町長部局で7名、教育

委員会では保育士中心に16名、病院の看護師6名、計29名いる。待遇の面では職員の給料表を用いるので不利益はないと考えている。将来的には正規職員化の検討も必要。人ではなく、職種ごとの検討になる。これまで臨時で対応していた部分に正職員を配置すべきかどうか、外部委託も含めて、全体のバランスを考えていく。

◆一般職給与に関する条例改正 大友議員 ※ラスパイレス指数について、県内と最上地域での当町の数値を伺う。

総務課長 現在当町は98.3%の指数であり、県内では26番目、22町村のなかでは13番目、最上地域では最下位である。

※ラスパイレス指数とは… 国家公務員の平均給与額を100とした場合の、当該自治体公務員の給与水準を示す指数。

議会のうごき

R元年10月～R2年1月

- 10月24(木) 議会報告会(川ノ内公民館、及位地区生活環境改善センター)
 - 25(金) 議会報告会(中央公民館、平岡公民館)
 - 28(月) 議会報告会(ふれあいセンター-安楽城、釜淵多目的集会所)
 - 29(火) 議会報告会(差首鍋地区生涯学習センター-まざれや、東町2区公民館)
 - 11月7(木)-8(金) 道路建設促進期成同盟会要望活動
 - 11(月)-12(火) 最上市町村議会議長会議長視察研修
 - 13(水) 第63回議長全国大会、第44回豪雪地帯町村議長全国大会
 - 14(木) 町村議長行財政セミナー
 - 21(木) 議員協議会
 - 25(月) 専門職大学設置に係る要望活動
 - 26(火)-27(水) 県選出国会議員への中央要望活動
 - 28(木) 議会運営委員会、全員協議会
 - 12月9(月)-11(水) 町議会定例会
 - 18(水) 最上地方町村議会議長会議
 - 18(水)-19(木) 自治振興研修並びに議長会
 - 19(木) 最上広域市町村圏事務組合議会全員協議会
最上地区広域連合議会運営委員会、全員協議会
 - 23(月) 県教育委員会教育長への要望活動(真室川校存続に関する意見書)
 - 24(火) 最上広域市町村圏事務組合臨時会
最上市町村長と議会議長との意見交換会
 - 25(水) 最上地区広域連合定例会
- 議会広報常任委員会の開催 (12/25、1/9、1/15、1/17)
※この他、町主催の行事にも出席しております。

伝言板

春夏秋冬

インフルエンザ予防対策を

昨年5月、元号が「令和」に代わり、初の新年を迎えたお正月、健やかに過ごされたと思います。何と言っても例年になく積雪量が少なく、ゆったり気分になり、一息つけたのではないのでしょうか。そうは言っても1月8日の県内ニュースでは早くも「インフルエンザ警報」が発令されました。昨年よりも2週間早いといえます。

- 適切なマスクの着用
- 小まめな手洗い

などを徹底し、り患しないように心がけましょう。



請願等

●次期食料・農業・農村基本計画に関する請願

【請願者】
もがみ中央農業協同組合(もがみ中央農協農政対策本部長)

【紹介議員】
代表理事組合長 安食 賢一
高橋 秀則

【請願趣旨】
政府における中長期の農政の指針となる食料・農業・農村基本計画の見直しにあたり、食料安全保障に資する基本政策を確立するため、生産面及び消費面からの対策実現の取り組みを政府に求めるための請願。

【結果】
採択 意見書として関係大臣に提出

【提出先】
内閣総理大臣 財務大臣 総務大臣
文部科学大臣 農林水産大臣



雪崩防止柵

小学校の学習指導要領に伴い、教科書が改訂となり新しいものになる。小学生は無償だが、教師が効果的に授業を進められるよう、また、評価の仕方などについての指導書購入費である。

産業振興条例奨励補助金

大友又治議員 補助内容。

企画課長 産業振興条例に基づく操業奨励金である。固定資産税減免分、42万円、町県民税減免分、43万円、指定業者について既決の予算があった為、総額として計上した。町内4社、町外1社である。

小学校備品購入費

※既決の予算総額61億7230万円に歳入歳出それぞれ1660万円を追加

佐藤成子議員 小学校振興費、備品購入の内容は。

教育課長 来年度から

林業木材産業

佐藤 正議員 産業化促進対策事業交付金減額の内容は。

農林課長 交付した促進補助金の減額内容に

ついては、当初補助事業で高性能ハーベスタを導入する計画であったが、補助事業からリース事業の導入に変更したいとのこと、当初の計画に変更が出てリース事業に変更した関係で補助事業がなくなり減額となった。

佐藤 正議員 この事業に何社か応募をしていると思うが、何社の応募があり何社が変更したのか。

農林課長 1事業社のハーベスタ高性能林業機械1台がリース事業に変更をした。

佐藤 正議員 当町には林業会社は何社かあるが、ほとんどが手作業による作業であり、高性能の林業機械の導入は作業の効率向上と収益の向上につながると思う。補助金の使用にあたって、業者の方々に事業説明をしつ

かりと行い、計画変更のないように事業を進めて頂きたい。林業業社に対する対応を伺う。

農林課長 県の補助も予定していたが、これも減額している。事業計画の中でリース事業の方が有利であり、話合いの中でリース事業の方に変更されたのでご理解頂きたい

○その他の議案
(※議案名は簡略標記してあります)

条例改正等

◆地方公務員法等の一部改正に伴う関係条例の整備

◆成年被後見人等の権利の制限措置の適正化を図る条例

◆議員報酬・特別職・技労職員給与の条例(人事院勧告によるもの)

◆町営住宅設置条例

特別会計補正予算

- ◆国民健康保険
- ◆後期高齢者医療
- ◆介護保険
- ◆町立病院事業
- ◆水道事業
- ◆公共下水道事業
- ◆梅里苑事業

主な歳出項目	補正額
産業振興条例に基づく操業奨励金	115万2千円
林業木材産業成長化促進対策事業費補助金	▲816万6千円
まむろ川温泉梅里苑事業特別会計繰出金	710万円
町道野々村昭和線側溝整備事業	380万円
教師用教科書・指導書購入費	394万3千円



高橋 秀則 議員

町長

■交流人口の拡大に向けて

□町のリピーターの拡大に努める

一般質問は、行政全般にわたり町当局に対して事務の執行状況や将来における政策方針について、議員個人が問いただすものです。

議員 町にPR看板を設置して、町を訪れた方々にインパクトを与えてはどうか。

町長 当町においてになる方々は、イベントやスポーツ大会など、それぞれの目的があるが、さらに「もう一度真室川に来てみたい」、あるいは「別の真室川を体験してみたい」と思っていたら、それは、イベントや大会の成功のみならず、交流人口の拡大に向けて大変重要なことと考えている。

町の自然景観の維持を優先させ、道路沿いへの大型の観光看板の設置は行っていないが、

議員 仮設トイレの清掃管理やイベント時の仮設トイレの数や管理は適切であるか。
町長 仮設トイレにつ

いては、トイレトペーパーの補充や清掃を随時行うとともに男女別に表示をしており、

混み具合を見て男女の割合を変えるなどの対応をしていたが、切れ間なく使用されていて、清掃のタイミングがなかった場合もあったようである。配置規模等については、特に女性に負担がかからないよう今後とも各実行委員会に対し助言を行いながら、きめ細やかな対応に努めていく。

議員 中央公民館のイベント時のバリアフリー化は十分といえるか。

町長 バリアフリー化推進のためには施設整備とともに、高齢者や障がい者に対する理解と協力、つまりソフト面のバリアフリー化をすすめることが大切だと考えているので、イベント時においても配慮されるよう努めていく。



木材をアピールした看板

その他の質問

●テレビ難視聴地域への対応は

習慣病については、予防教室の開催を行っており、個人の（動機付け）では、ヘルスケアーポイント事業による健康ポイント付与で、健康づくりがされている。

点についての状況は。
町長 町営バスに関しては約2割増の利用者があり、デマンドタクシーについては、前年同期と比べ率にして78%の増になっている。

公共交通の運行・利用状況について

議員 町営バス乗降フリー・デマンドタクシー枝線乗り入れ可能について利用状況や改善

町長 「町公共交通会議」にて協議し、運行の改善・改正を進めている。

■地域医療提供体制の維持・確保について

町長

□医療提供体制を維持・確保していく



佐藤 栄子 議員

議員 厚生労働省より診療実績に乏しい病院として公表されたが、情報収集・内容は、

町長 県内4地域医療構想調整会議において、病院長から「病床利用率80%を超えており冬期間は満床になる現状、一部急性期の機能を持ちながら全体的に回復期機能への移行を検討していく」など町立病院の状況を踏まえた報告説明がされた。

議員 国では医療抑制効果について「良いインセンティブ（動機づけ）」を行っているが、

町長 市町村の国民健康保険について、保険者の努力支援制度として「病气予防の交付金」を創設している。受診勧奨の実施・特定検診・特定保健指導・歯科検診の受診向上につながっている。生活



町立病院



外山 正利 議員

町長

住環境整備を大胆に取り組みべき

□人口減少抑制のため住みよい町づくりを進める

議員 人口減少の進行

は、生産や消費といった経済面への影響はもとより、集落など地域コミュニティ機能の弱体化、社会保障制度など公共サービスの縮小など、私たちを取り巻くものに影響を与えると考えられる。

そこで住環境整備施策を大胆に取り組みべきと考えるが町の考えは。

町長 町の総合計画を上位計画とし町営住宅長寿化計画を策定し

展開している。

これまで、錦町・宮沢・梅の里住宅については国の補助を活用し、改修を順次進めている。緑町住宅は借地であり将来的には更地にして所有者に返却し、東町住宅の建て替えに当たっても、町有地での団地整備を検討する計画としている。

議員 東町二区地内にある旧林野庁苗畑跡地を町で購入し住環境整備に充てては。

町長 定住を促進し、

人口減少を抑制するため、住みやすい快適な住環境の整備をはかることは、大変重要と考えている。

新たな政策の策定に合わせ、町民の声を基に人口減少対策を構築する中で方向性を定める。

町と住民や企業団体と協働の取り組みは

議員 自治体では、住民の多様なニーズに答え直面する社会的課題

へ対応するため、住民等との協働として採り入れている。自治体独自に住民のニーズに答えることが困難なことから、新しい公共サービスの提供の方法として考えてはどうか。

町長 町づくりに主体的に参画する機会の提供や、地域への自主的に町づくりの気運を醸成するとともに、協働の有り方について検討していく。



駅西住宅

たち、地域に必要な、そして町民が望む存続のため、町は引き続き

支援をおこなっていく。

真室川校を存続させるために

町長

□地域に必要な高校として要望していく



佐藤 成子 議員

議員 少子や入学者が激減したことによって今や新庄神室産業高校のキャンパス校となつた真室川校、このような中で高校再編についての説明会が開催され、存続か否かの局面に立たされていると強く感じた。入学者確保の対策について伺う。

町長 町として地域の活力源でもある高校の存在意義を踏まえ、存続に向けて支援する方針に変わりはないが真室川校は山形県が設置している高校であり整備のありかたについては、県が考える高校教育の在り方を踏まえ県教育委員会が措置するもの。

真室川校を選択している中学生にとっては少人数の個人を大事にする教育課程や個別指導によるキャリア教育

の充実といった点など大きな魅力になっていくという。今後も、真室川校に関心を持っていただいた生徒により真室川校の魅力を伝え、更に他の生徒にも魅力を知ってもらい入学につながるよう取り組んでいく。

議員 存続していくための支援や対策は

町長 最上地区の高校再編において、入学者数の減少で募集を停止するというのではなく、計画期間の令和6年度まで存続し、その後の計画の中で検討していただきたいこと等伝えている。

真室川校の地域活動、例えば地域の祭りや清掃活動、除雪ボランティアなどに取り組み、学校行事での小中学校との連携は地域の活力に繋がっており、子供





菅原 道雄 議員

まむろ川満喫マップの作成を

町長

□リニューアルに向け検討する

議員 「あがらしやれまむろがわマップ」は、梅里苑周辺マップ、まちなかマップ、飲み食い処がいろいろ網羅され大変考えた作りになっているが、このマップを見直し、真室川をもっともって見て楽しんで、真室川を満喫していただけるマップを作成すべきでは。

町長 観光パンフレット「あがらしやれまむろがわ」は、平成23年度に全面リニューアルしたもので、最小限の

修正を加えながら増刷・活用してきた。利用者からは、両面カラーの蛇腹式のコンパクトなデザインで、持ち運びしやすく使い勝手が良いと好評をいただいている。町の総合案内の役割も果たしているので、「多くの情報を分かりやすく」をコンセプトに作成している。

また、昨年は英語・中国語など外国語パンフレットを作成し、町内外の交流施設に配置

したり、海外PRに向け配布依頼する等、インバウンドに対応した取り組みも始めている。一方、リニューアルから年数が経過し、新たな観光資源や施設情報等の掲載内容を大きく見直す必要があると考えている。

見やすいこと、手に取ってみたいくなるような表紙デザインであること、ページ割り付けが魅力的であること、新たな観光資源や素材などが取り上げられて

いることが必要な条件と考えている。

個別に紹介するためのマップもあるので、これらとのバランスも考慮し、議員提案の情報を含め魅力的なパンフレットとなるよう、資源情報を収集しながら来年度リニューアルに向けた検討を進める。



あがらしやれまむろがわマップ

■病院維持のための課題への対処は

町長

□スタッフや財源の確保、事業推進に努める



平野 勝澄 議員

議員 今回の公立病院再編統合に関する発表の根本には、国の福祉医療費抑制政策がある。効率的でない部分を改善することに異はないが、広大な面積を抱える地方においては、単純に医療経営といった観点以外の要素も含めて、行政は住民の健康と福祉に責任をもつべきだ。効率化と事業充実両面から、取り組みの現状を問う。

町長 厚労省の考えは、限られた医療資源をそれぞれの地域で活用し、次代に対応した医療を構築するため、病院間の連携や機能分担が必要であるということであり、町としても町立病院をはじめとした県立病院との連携や病床機能の検討などを進めている。

ジェネリック医薬品の使用拡大や検査業務委託の見直しなどによる経費削減を行っているが、町立病院としての救急医療への対応やCT・MRI等医療器械等の施設・設備の維持経費が必要になっており、一般会計から繰り出しを行っている状況にある。今後とも、国県をはじめ関係機関に医師・看護師の確保や財源確保等について要望活動を行っていく。

健康増進及び福祉事業については、なによりも町民が健やかに元気で暮らし続けることができるよう、一人ひとりが実践する健康づくりや健康寿命延伸に向けた介護予防の推進など、総合的な支援に取り組んでいる。高齢化が急速に進行する中で、これらに係る事業

費は増加している傾向にあるが、引き続き保健・医療・福祉が連携

した実効性の高いサービス提供や事業の推進を図っていく。



町立病院の待合室

地域に残そう若い力

～最上地区県立高校再編整備計画の見直しを～



県教育長へ意見書提出

県教育委員会では、少子化の進行など社会の変化に対応するため、県立高校の再編整備を進めています。その中にある、最上地区の県立高校の現状と課題、再編整備の経過及び今後の進め方について、新庄市、最上町、金山町、真室川町にて地域説明会を開催し、令和2年3月を目途に計画の骨子案を公表することとしています。

真室川町においては11月11日(月)町中央公民館で開催されます。内容は、現在分校を含め6校ある高校を、令和6年度を目途に2校程度にする計画となつており、多くの参加者から真室川校の存続についての意見・要望が出されま

した。議会としても、地域の声を吸い上げ、存続に向けた要望活動を行うため、議員発議として県立高校再編整備計画の見直しを求める意見書を提出することに、12月議会定例会で可決しました。

(主な内容)
・今後の最上地区の高校再編にあたっては、真室川校について現行の計画期間である令和6年までの存続を、その後の次期計画の中で扱いを検討するなど、再編計画の見直しを盛り込んでいきます。

(※詳細は左を参照)
●議員発議
「最上地区の県立高校を2校程度とする再編整備計画の見直しを求める意見書」の提出について
提出者 佐藤 正議員
賛成者 大友又治議員
賛成者 菅原道雄議員

最上地区の県立高校を2校程度とする再編整備計画の見直しを求める意見書
平成26年に県が策定した「県立高校再編整備基本計画」においては、中長期的な計画として最上地区の県立高校を令和6年度までに地区全体で2校程度に再編する必要があるとしています。こうした中、県教育委員会においては、小規模校所在地の3町の首長の意見聴取をしながら、新たな再編整備計画の策定に向け、本年10月下旬から学校所在地の1市3町(真室川・金山・最上・新庄)で地域説明会を開催し検討を進められ、計画の骨子案を来年3月に公表するとされています。

県立高校の再編整備における課題の一つとして、小規模校のあり方についても検討することされていますが、子どもの学びに影響が出ないことを基本とし、学校が地域コミュニティの拠点としての役割も果たしている観点を含め、学校・保護者・地域の声をもとに慎重な検討と合意を図るべきであります。また、社会全体において経済格差が広がる中、通学にかかる費用や時間は大きな負担であり、この負担がさらに拡大し、学びの機会や学力にも影響が広がることが懸念されます。さらには、都市部への人口集中に拍車がかかり、地方創生や地域への定着の促進に影響があることは明らかであります。

こうした地域の実情等も踏まえ、最上地区において現在キャンパス制となっている3校については、県内に設置されていない新たな特色ある学科(芸術、社会福祉、森林・林業など)の設置など、子どもが希望する教育を受けられることができる小規模校の特徴を生かした再編整備に向けた検討が必要であると考えます。また、昼間定時制の新設については、新庄北高定時制の校舎を前提とせず、あらゆる選択肢のもとで広く検討することが必要であると考えます。

今後の最上地区の高校再編に当たっては、このような観点を含め十分な検討をいただき、真室川校について現行の計画期間である令和6年度まで存続し、その後の次期計画の中で扱いを検討していただくなど、最上地区における高校を2校程度へ再編する計画の見直しを求めるものであります。地域の実情を十分に踏まえ、地方創生を重んじた教育行政を推進いただきますようお願いいたします。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和元年12月11日

山形県教育委員会 教育長 菅間 裕 晃 殿

真室川町議会 議長 五十嵐久芳

議会活性化に向けて

～8会場で議会報告会～

- 10月24日(木)
 - ・川ノ内公民館 ・及位地区改善センター
- 10月25日(金)
 - ・中央公民館 ・平岡公民館
- 10月28日(月)
 - ・ふれあいセンター安楽城 ・釜淵多目的集会施設
- 10月29日(火)
 - ・差首鍋地区生涯学習センター ・東町2区公民館

議会改革

問 議会改革調査特別委員会について、外部委員を取り入れるため、議員以外の委員を入れてはどうか。

答 特別委員会は議会

10月24日～29日までの4日間、町内の8会場において議会報告会を開催しました。参加いただいた方々から、議会と町に対する様々な貴重なご意見・要望をいただきました。すべてのご意見は掲載できませんが各会場での共通した内容は、要約の上お伝えいたします。今後の議会活動へと反映させていただきます。

内での委員会であり、議員だけの構成となつております。協議の経過については、議会日より皆さんの意見を参考にさせていただきます。

問 特別委員会で議員定数、報酬について協議していくとしているが前回無投票という事もあり、どう考えているのか。

答 定数が11人でありませんが、途中欠員により10人の体制で活動してきたこともあり、定数の見直しは課題となつております。報酬を増えらば議員の成り手が本にあるのは政治に関心を持つていただくこ

とが先決と考えています。皆さんのご意見も頂きながら改選期まで議論していきます。

問 現在の議員報酬では、若い人は専業で議員活動ができないので上げてほしいと思つている。

答 貴重なご意見ありがとうございます。今後調査を行つていくうえで参考とさせていただきます。

問 議会報告会の会場について、大滝、八敷代、鏡沢地区からも参加しやすいように、大滝学区で開催できないか検討してほしい。

答 現在町内8会場で開催していますが、今年度の結果を踏まえ来年の開催に反映させていただきます。

災害・防災関係

問 改正されたハザードマップは現地にあってはどうか。

答 担当課では何度か調整を行つております。昨年

ない。見直しの予定はない。また、高齢者は避難するのにかかる時間が、早めに避難情報を出してもらえないか。

答 昨年の被災状況を踏まえ、県管理河川の浸水区域等の見直しが予定されており、町もそれに合わせ見直しを行う予定です。また、避難情報については、3段階の避難情報が発令されますが、身の危険を感じる場合は、町からの情報がなくても避難を開始されるようお願いいたします。

問 防災放送が聞こえにくい。また、近くにありすぎて逆に聞こえにくい。改善方法は。

答 担当課では何度か調整を行つております。昨年

質問も出されましたが、町の回答として通常時の情報を確実に伝達するには各戸に受信機を設置する方法がありますが、既存システムとの調整や予算等の検討をし、出来るだけ早期に整備する方向で検討するとしています。また、今年度から放送した内容を電話(☎62-3388)で確認できるようになつていま



問 台風19号の際、エリアメールで食料や毛布を持参して避難するよう連絡があったが基準はどうなっているのか。

答 ハザードマップに非常時持ち出し品を掲載しておりますが、エリアメールではそのリストに基づき連絡されたものだと考えます。

問 避難所が開設されたが、職員がどのような手順で行うのか把握されていないようだったので、マニュアルの整備が必要ではないか。また、避難所にはある程度の物資を供えておくことも必要ではないか。

答 昨年8月の豪雨の際にも指摘を受けており、対応マニュアルを作成中です。

問 避難所開設の参考とするため、実際に避難した方の意見を聞いてほしい。

てはどうか。

答 担当課に伝えます。(後日回答事項)

町の回答

今年度は自主防災組織の総会や8地区で開催した防災座談会などで、災害に対する日頃からの備えや心構え、有事の際の対応方法などを説明し、合わせて質問や意見をいただく機会を設けましたが、今後も地区の防災訓練時など、より多くの方が集まる機会を捉え、継続してこうした取り組みを行います。

東北中央自動車道

問 東北中央自動車道が完成することで、企業誘致の可能性も出てくるのではないか。早期の完成をめざしてもらいたい。

答 東北中央自動車道の早期完成に向けた要望活動は毎年実施して

おりますが、今年度も、11月に町長と議員全員で県選出国会議員へ要望してまいります。

問 道路建設の進捗状況は、また施設の概要は。

答 完成にはまだかなりの時間を要しますが、及位地区と昭和地区にインターチェンジが建設される予定になっております。

問 議会の活動の中で、8月に行った道路建設促進に関する要望活動の内容は。

答 東北中央自動車道新庄〜湯沢間の高規格幹線道路の早期に整備されるよう、関係市町村の首長・議長による継続的な要望活動となっているものです。

除雪関係

問 除雪する際の基準は地区によってばらつきがあるようだ。国道

から及位駅まで日に1回だけで、仕事の関係で夜帰ってくる人もいるので支障をきたしている。また、国道への取り付け道路に大量の雪を置いていく。何とかならないのか。

答 町の除雪は各地区のオペレーターで判断しているようです。除雪する時間帯の問題もあると思いますが、可能な限り交通に支障が出ないようにと、議会でも指摘・要望しています。

町職員関係

問 副町長、教育長の任命によって変わった点は。

答 副町長は県職員だったことから、県との太いパイプを築きながら各課との調整を図っています。また町長は出張が多く、不在となる際に業務が停滞しな

いよう代理で職務を担っています。教育長については、町の教育振興計画策定を始め、学校副教材費やこども園の副食費の無償化、公営塾の開設など、経済的支援や学力向上に向けた教育行政を担っています。

問 町の職員採用に関して、特に専門職に関する人材確保のため年齢制限の廃止などできないものか。

答 町では、人材確保のため一般職をはじめ専門職について年齢条件の緩和をしております。



町立病院関係

問 先日新聞報道で、再編・統合が必要な病院に町立真室川病院が含まれていた。町内の開業医も減ったこともあり、何としても町立病院は残してほしい。

答 厚生労働省の一方的な公表にみなさんが不安を感じています。町ではこれまで同様地域医療体制を維持・確保していく姿勢であり、議会でも町と一緒に国會議員への要望活動を行っている予定です。

問 電子カルテが導入されると聞いているが、いつから稼働されるのか。また、医師が一人増えたが今後も募集の要望はしていくのか。

答 電子カルテについては、※今年度中に稼働するよう準備が進められております。医師確保については、今年

教育関係

度常勤医師を1名増員できましたが、安定した医療提供が出来るよう引き続き増員の要望をしてまいります。(※その後、今年度からの導入、新年度からの本稼働に変更となりました。)

問 あさひ小学校のスクールバスの運行については、以前要望していた、谷地・小国地区へ対応していただきたいが、内の沢・小川内地区も歩道がなく、冬期間は危険なのでスクールバスの運行を検討していただきたい。

答 担当課に伝えます。(後日回答事項)

町の回答

小学校のスクールバス運行の目安は、通学距離が2km以上の場合としており、小川内地区は現在児童がいま

その他

問 地区公民館は地区で支出する維持経費が多く、なかでも水道料金の占める割合が多いので軽減策を検討してもらえないか。

んが、児童が入学した時から運行します。内の沢地区はこの基準に該当しないことから、現段階では運行を予定していません。

問 地区説明会で旧大滝小学校廃校跡地について町内企業から譲渡の申出があると聞いている。避難所やドクターヘリの離発着場所にもなっているため、用地を残すか代替地を確保してもらいたい。

答 町からの説明では、避難所・ドクターヘリ離発着場の機能は維持していくことで検討していると報告を受けています。

答 公民館分館管理運営費補助金が拡充されているので活用していただきたい。また、水道料金は今年度値下げされました。分館の維持管理経費については、

独自に軽減対策を行っている地区もあるかと思っておりますので、区長会や公民館運営協議会などで情報を共有し参考にしていただきたいと思います。



自治功労者表彰

(議員30年以上)



佐藤一廣 議員

令和元年11月13日に開催されました町村議会議長全国大会(東京)の場において、佐藤一廣議員が永年功労者表彰を受けました。

これは、全国町村議会議長会の創立70周年を記念して、議会議員として30年以上在職し、地方自治の振興及び住民福祉の向上に対し著しく功績のあった方に対し表彰されたものです。

佐藤一廣議員は現在9期目(34年目)であり、今後更なる町政発展にむけた議員活動にご期待申し上げます。

中央要望活動

要望実現に向けて(国会議員へ要望)

11月26日～27日

県選出国會議員へ要望

町と議会では、毎年当町における地方創生推進のため、国に対し「財政支援・情報支援・人材支援」の継続した支援を要望するため、県選出国會議員への要望活動を行っています。

今年度は、大きく5つの項目について要望を行っております。

【要望先】

- ・衆議院 遠藤利明 議員
鈴木憲和 議員
加藤鮎子 議員
- ・参議院 舟山康江 議員
芳賀道也 議員

● 圃場整備(農地整備事業)の推進

● 東北中央自動車道(新庄～湯沢間)整備促進

● 河川整備(治水事業)の促進

● 地域医療の確保

● 地上デジタル放送共聴施設整備への支援拡充



傍聴お待ちしております

● 次回の定例会は

3月です

令和元年の本会議議事録は町ホームページでもご覧いただけます。
URL <http://www.yume-net.org/>

お問い合わせは
議会事務局まで
☎62-2111 (内線205)

編集を終えて

新年おめでとうございます。2020年は庚子年「動きがあり、あたりしものを作ろうとする年」とのことです。まさにその年の如く町に於いてはくつろぎの宿として親しまれている「梅里苑」も4月1日より指定管理者による業務運営に変わります。

役場新庁舎工事も順調にすすみ、12月末においての進捗率は30%になっており、鉄骨枠組み建設が終わり屋根の工事を行う予定と聞いています。

議会広報についてはより分かりやすい内容にと努力していますが、何よりも皆様のご意見が大切なのでお寄せ頂ければ幸いです。結びに、「皆様にとって幸せな一年となりますように。」

(佐藤 成子)

〔議会広報常任委員会〕

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 平野 勝澄 |
| 副委員長 | 佐藤 栄子 |
| 委員 | 佐藤 栄子 |
| 委員 | 佐藤 成子 |
| 委員 | 高橋 秀則 |